

夏季少年のバス
宮崎の大自然が育んだ友情と規律

青少年育成町民会議主催の宿泊体験「夏季少年のバス」が8月18日から3日間行われ、町内の小4から中3までの児童生徒40人が参加しました。宮崎県延岡市を訪れ、海水浴や屋外でのキャンプファイヤーなどで大自然を体験。子どもたちは、3日間の団体生活を通して同世代の仲間との友情や規律を育みました。



↑ 海水浴場100選の九州No.1に選ばれた下阿蘇ビーチで遊んだ子どもたち。

↓ 参加者が作った上野焼抹茶碗を使い、11月に小倉城庭園で茶会を開催予定。



上野焼作陶体験
ゆかりの地「小倉城庭園」で作陶体験

上野焼協同組合は、小倉城との交流イベントとして8月中の7日間、小倉城庭園と上野焼各窯元、上野焼陶芸館で上野焼の作陶体験を開催。参加者は、作家の指導の下「マイ抹茶碗」を作りました。この企画は、好評につき9月末までの開催延長が決定。申込は、上野焼HPで受付中。



おやこ料理教室
料理作りで深めた食への関心と親子の絆

夏休み期間恒例の「おやこ料理教室」が、8月5日に金田保健センターで開かれました。参加者20人は、町の調理師・管理栄養士と食進会の指導で「トマトソースのじゃがいものニョッキ」、「サラダカップずし」、「パナコッタ」の3品を調理。完成後は、奮闘して作った料理を堪能しながら、親子の絆を深めていました。



↑ 家族や他の参加者と役割を分担し、協力しながら調理を進めた参加者たち。

↓ みんなで懸命に「せーの」とタイミングを合わせ、上手にローボートを操船。



B&Gカヌー教室
輝く笑顔と楽しさはじけたカヌー教室

町内の小中学生を対象とした「B&Gカヌー教室」が、8月3日に古谷池（金田）で開かれました。参加者16人は、約3時間カヌーやローボートの運転を体験。最初は、慣れないオールでの操船に四苦八苦していた子どもたちでしたが、最後は全員で池一面を周遊し、笑顔がはじける夏の思い出を作っていました。

↓ ファンたちが見守る中行われた紅白戦では、審判を松永歩未選手、解説を森田亜貴斗監督が担当。



2022-23 シーズンファン感謝祭
カノア選手と特別な1日を共有

福智町をホームタウンとする「カノアラウレアーズ福岡」が、8月6日に金田体育館で「ファン感謝祭」を開催しました。3セットマッチによる白熱の紅白戦や、監督と選手によるスペシャルトークショー、サイン・撮影会を実施。県内外から参加したファン約200人は、普段接することのできないカノアの選手たちと直接交流し、特別な時間を過ごしていました。

沖縄県・中城村との交流事業「少年の翼」
南国の素敵な思い出に「にふえーど」

兄弟都市・中城村との相互交流事業「少年の翼」が7月29日から2日間行われ、小学5・6年生16人が地元児童と交流を深めました。世界遺産「中城城跡」の見学や平和祈念堂の訪問、民泊などを通じて異文化を全身で学習。子どもたちは、沖縄での楽しい思い出に「にふえーど（ありがとう）」の気持ちでいっぱいでした。



↑ 初日は世界遺産「中城城跡」の見学で琉球の歴史を学び、綺麗な景色も堪能。

↓ 教諭時代に担当したクラスで起きた差別や生徒たちからの手紙などを紹介。



同和問題啓発強調月間講演会
差別体験から他人ごとじゃない学びを

大分県人権啓発講師の池部小枝子さんを招いた人権講演会が、7月27日に福智町地域交流センターで開かれました。自身の差別体験から、他人ごとで終わらせないことの大切さを力説。「差別とは自分と異なるものへの無意識の偏見・無理解・見下しが顔をのぞかせたもの」と伝え、参加者331人の関心を深めました。